

2021年5月20日

アセットマネジメントOne株式会社

2020年度スチュワードシップ活動に関する自己評価について

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 菅野暁、以下「AM-One」）は、投資先企業の持続的な成長と企業価値向上を促すことを通じ、お客様の中長期的な投資リターン拡大を図るべく、積極的にスチュワードシップ活動を実施しております。本年度もスチュワードシップ・コードの原則・指針毎に自己評価（振り返り）を実施致しました。具体的な取組み内容は、以下の通りです。なお、スチュワードシップに関する活動の内容および自己評価につきましては、経営政策委員会として設置している「責任投資委員会」において妥当性の確認を実施しております。

<主な取組み内容>

2020年度は、コロナ禍におけるスチュワードシップ活動の在り方を再考し、「新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた当社のスチュワードシップ活動方針」を策定・公表した上で、インベストメントチェーン並びに関係当局、各種イニシアティブ等との連携も深めながら、環境・社会課題の解決を通じ企業価値向上を促す取組みを強化致しました。また、「アセットマネジメントOneにおける社会的使命の実現に向けた取組について」を公表し、コーポレートメッセージ“投資の力で未来をはぐくむ”を社内外に発信致しました。具体的な取組み内容は、自己評価（要約版または詳細版）をご覧ください。

2020年度スチュワードシップ活動に関する自己評価

（要約版）

http://www.am-one.co.jp/img/company/36/2020_stewardship_summary.pdf

（詳細版）

http://www.am-one.co.jp/img/company/36/2020_stewardship_details.pdf

以上

【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約54兆円と国内有数の規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

HP：<http://www.am-one.co.jp/> ※運用資産残高は2020年9月末時点。

商号等／アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会